

こどもまちづくり研究会について

1. 概要

(1) 開催目的

子どもたちの柔軟な発想をもとに、まちの理想像を絵で描いてもらうことで、子どもたちが考えるまちのイメージを引き出す。その他にも、まちづくり体験ゲームを通して、駅や自宅、学校周辺などに必要な施設を考えてもらい、子どもたちが求める施設などを把握する。

(2) 開催概要

項目	内容
名称	こどもまちづくり研究会
対象	市内の公立の小中学生のうち、小学5年生及び6年生、中学1年生及び2年生
開催日時・開催場所	市内4ヶ所の会場で、夏休み期間中に開催 令和4年8月23日(火) 下保谷児童センター(14時から18時30分まで) 東伏見ふれあいプラザ(14時から16時まで) 令和4年8月24日(水) ひばりが丘児童センター(14時から16時まで) 田無児童館(14時から16時まで) ※絵については、令和4年7月21日から9月2日までの間で上記会場のほかに市内の児童館にて回収ボックスを設置
参加者募集方法	・学校経由で小学5年生及び6年生、中学1年生及び2年生を対象に案内チラシを配布 ・開催会場のほか市内の児童館にて案内チラシを掲示

(3) 意見収集の方法

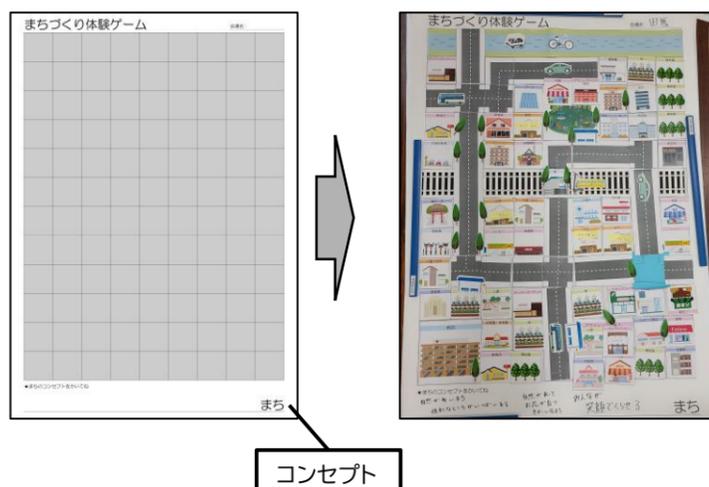
① 絵の作成

家や普段遊んでいる場所のまわりに、ほしいもの・あったらいいものを自由な発想で絵に描いてもらうとともに、どんなまちになったらうれしいか、キーワードなども含めて表現してもらいました。

② まちづくり体験ゲーム

施設カードを使用して駅や自宅、学校周辺に「あるといいな」をテーマに、職員とコミュニケーションをとりながら、施設等の配置を通じて、理想のまちをイメージしてもらいました。施設カードを配置後、子どもたちにまちのコンセプトについて「●●のまち」とタイトル付けしてもらいました。

施設カード



(4) 参加人数・作成枚数

テーマ	人数(人)	作成枚数(枚)
① 絵の作成	28	28
② まちづくり体験ゲーム	41	15

2. こどもまちづくり研究会の実施風景・成果

(1) 実施風景

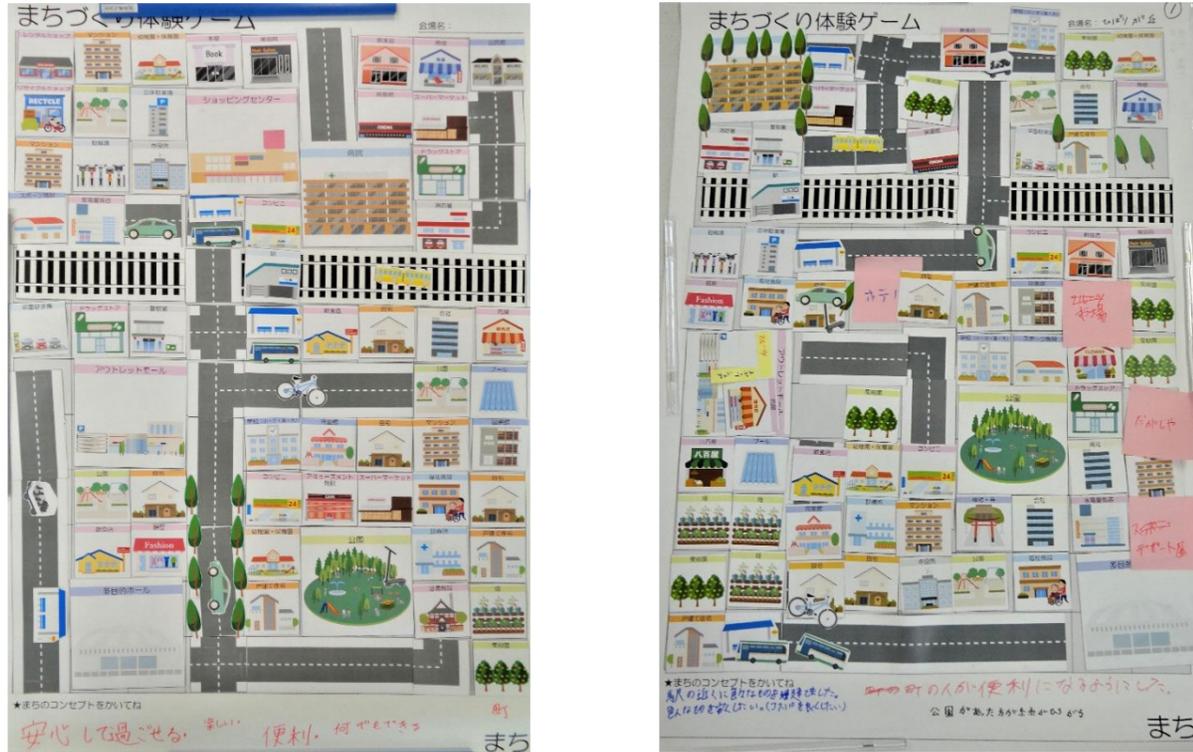


(2) 成果(一部抜粋)

① 絵の作成



②まちづくり体験ゲーム



②施設配置

◇駅、自宅、学校のそれぞれの近くにあるとよい施設や空間として、以下の施設や空間が多く挙げられていました。

駅周辺	自宅周辺	学校周辺
<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケット ・飲食店 ・駅の近くに行けばなんでもそろうイメージ ・ショッピングセンター ・大規模な公園 ・駐車場・駐輪場 	<ul style="list-style-type: none"> ・肉屋、魚屋 ・コンビニ ・飲食店 ・公園 ・温泉 ・畑、果樹園 ・日常的に使う施設が欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・コンビニや図書館などよく行く施設があってほしい ・保育園、幼稚園 ・公園 ・スポーツ施設 ・児童館

<ul style="list-style-type: none"> ◇スーパーマーケットやショッピングセンターなど集客力のある施設が挙がっており、商業地としてのイメージの意見がありました。 ◇一方で大規模な公園を求める意見もありました。 ◇駐車場・駐輪場といった交通結節点としての機能を求める意見もありました。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇肉屋など個店、コンビニ、公園など日常的に使う身近な施設や空間が挙がっていました。 ◇畑や果樹園といった自然を求める意見もありました。 	<ul style="list-style-type: none"> ◇自分たちがよく行く図書館や児童館のほか、子育て施設など生活に密着した公共施設が挙がっていました。
---	--	---

◇施設配置に関するその他の自由意見として、以下のような意見が挙がっていました。

【土地利用に関する意見】

- ・大きな道路沿いには工場、病院、マンション、飲食店やスポーツ施設など遊ぶ施設
- ・庭のある家に引っ越したい
- ・会社と住んでいるところは近い方が良い

【道路・交通に関する意見】

- ・移動が基本自転車なので、自転車で移動しやすいまちがいい(現在は保谷新道など、狭い道が多く危険)
- ・遠くの場所には車でいきたい
- ・南北に道路をつなぐことで踏切を超えて行くことができる

【みどり・水辺に関する意見】

- ・道路にみどりが欲しい
- ・川沿いに公園が欲しい
- ・自然に囲まれていたい、みどりを分散させる、みどりが多い方が良い

【都市機能に関する意見】

- ・公園と市役所が近くにあると、悩みがある人がすぐに相談に行けてよい
- ・児童館や幼稚園のそばに高齢者施設があった方が良い

3. こどもまちづくり研究会の意見のまとめ

(1) 絵の作成

◇絵に表現されている内容は、人の集まる施設などに関する要素が多い結果でした。

◇人の集まる施設などについて、主に以下のような施設が挙げられていました。

- ・テーマパーク
- ・博物館や資料館など文化施設
- ・スポーツ施設
- ・ゲームセンターなど娯楽施設
- ・学習スペース
- ・スーパーマーケット
- ・飲食店
- ・だがしや、本屋、服屋など個店

◇水・みどりに関する要素を表現している絵もあり、具体的には以下のような項目が挙げられていました。

- ・公園
- ・広場
- ・川
- ・みどり
- ・畑

◇「明かりが多いまち」と安全・安心に関する意見も挙げられていました。

(2) まちづくり体験ゲーム

① コンセプト

◇自然に関連したものや利便性に関連するもの、その両方に関連したコンセプトが多く挙げられていました。

- ・水とみどりあふれる豊かなまち
- ・自然が多いまち
- ・便利が詰まっているまち
- ・いろいろなものが近いまち
- ・都会すぎず田舎すぎないまち
- ・安心して過ごせるまち

西東京市まちづくりオープンハウスについて

1. 概要

(1) 開催目的

都市計画マスタープラン改定及び立地適正化計画策定の概要、令和3年度に実施した基礎調査や令和4年度に市が検討してきた内容について、市民を対象に広く情報発信する。また、市に対して市民が求めているものなど、アンケートを通じて意見を伺う。

(2) 開催概要

項目	内容
名称	西東京市 まちづくりオープンハウス
対象	年齢や居住地に関係なく全ての市民(市外居住者も含む)
開催日時・開催場所	市内6ヶ所の会場で開催 9月22日(木)15時30分から18時30分まで 東伏見ふれあいプラザ 9月24日(土)13時30分から16時30分まで 西東京いこいの森公園 9月27日(火)16時30分から19時30分まで 柳沢公民館 9月28日(水)16時30分から19時30分まで イングビル 9月29日(木)16時30分から19時30分まで ひばりが丘図書館 9月30日(金)16時30分から19時30分まで 保谷駅前公民館
参加者募集方法	市ホームページや市報、市の公式 SNS で周知するほか、市の施設に案内チラシを掲示

(3) 意見収集の方法

シールの貼付によるパネルアンケートを基本としつつ、意見用紙によってまちづくりに対する自由な意見を伺いました。

(4) パネルの内容

パネル	内容
A	都市計画マスタープラン・立地適正化計画の概要、検討フロー
B	市の現況（人口推移、土地利用、公共交通、防災）
C	ゾーン別・テーマ別の達成状況
D	西東京市のみどり・農地の概況
E	西東京市の人口特性①(人口密度、人口動向)
F	西東京市の人口特性②(高齢化率、年少人口率)
G	各施設の立地状況①(商業施設、医療施設)
H	各施設の立地状況②(介護福祉施設、子育て施設)
I	各施設の立地状況③(機能の積み上げ図)
J	西東京市のみどり・農地に関する取組
K	こどもまちづくり研究会 実施概要
	アンケートパネル①(シール貼付方式) 気になるパネルはどれか
	アンケートパネル②(シール貼付方式) まちづくりに必要な要素
	アンケートパネル③(シール貼付方式) 5つの駅ごとに期待される機能・役割、こどもたちに残していきたいまち

(5) 参加人数

会場	東伏見	いこいの森	西武柳沢	イングビル	ひばりが丘	保谷	計
18歳未満	0	10	0	0	0	1	11
18~64歳	3	13	6	5	8	5	40
65歳以上	4	4	2	2	6	0	18
市外在住	0	2	0	0	0	0	2
参加人数(人)	7	29	8	7	14	6	71

2. オープンハウスの実施風景・成果

(1) 実施風景



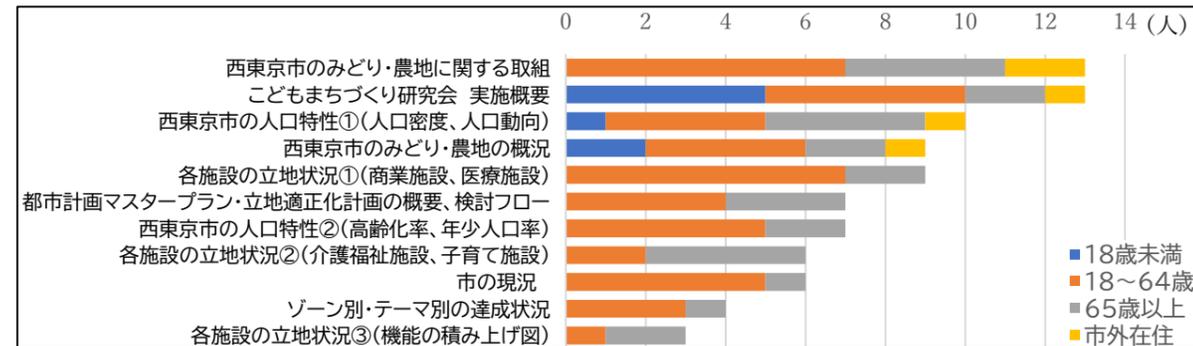
(2) 成果(一部抜粋)



3. オープンハウスで挙げられた意見のまとめ

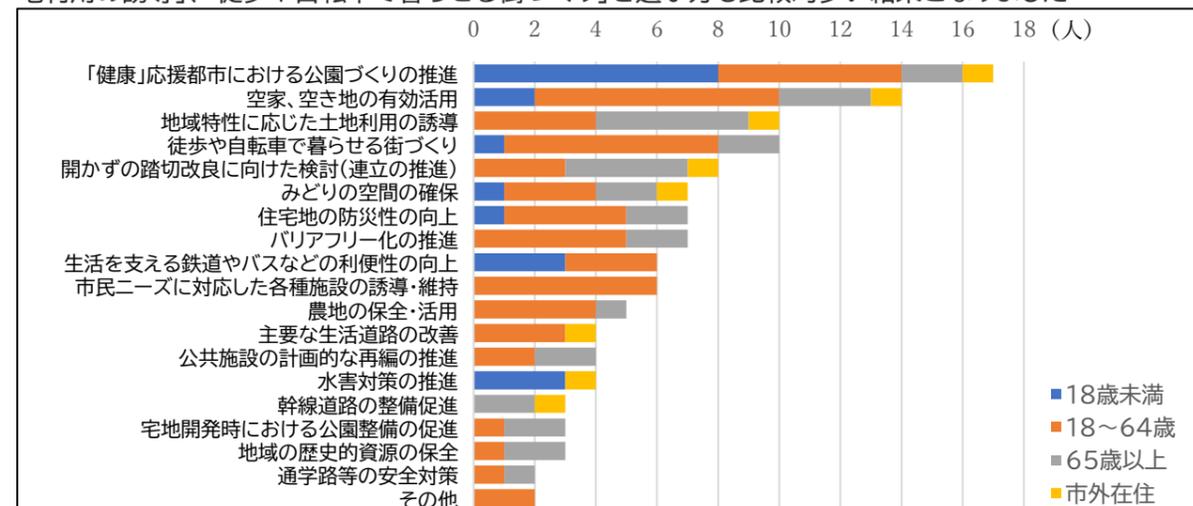
(1) 気になったパネルについて(1人シール2つまで)

みどり・農地に関する取組と、こどもまちづくり研究会についてのパネルへの関心が高くなっていました。特にこどもまちづくり研究会は、年齢の近い18歳未満の関心が高い結果となりました。



(2) まちづくりに必要な要素(1人シール2つまで)

「健康」応援都市における公園づくりの推進」が最も多く、18歳未満の方に多く選ばれていました。次いで回答が多かったのは、「空家、空き地の有効活用」で18歳~64歳の方に多く選ばれておりました。また、「地域特性に応じた土地利用の誘導」、「徒歩や自転車で暮らせる街づくり」を選ぶ方も比較的多い結果となりました。

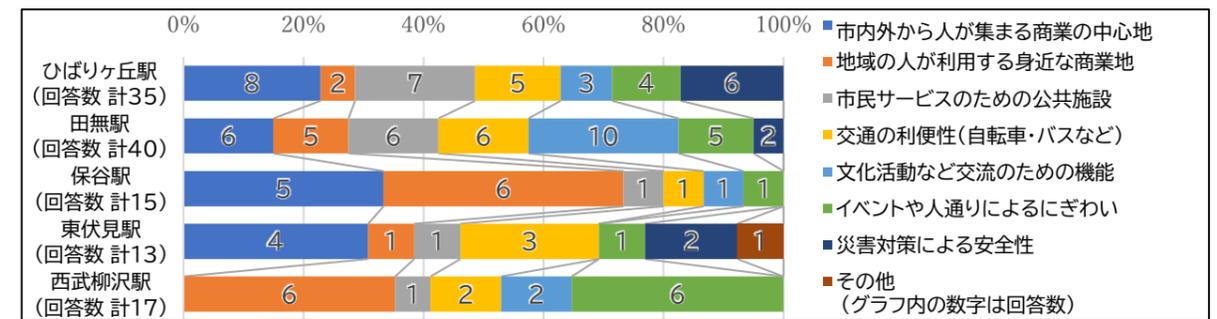


【その他意見】

- ◇歴史的資源が多くあるが、伝える人が高齢化していて、知らない市民が多いため、もっと発信していくべき。
- ◇そのまちの特徴や魅力に合わせて、それを最大限に引き出す力、街を読み解く力が必要だと思う。
- ◇全体を俯瞰する視点が必要。市民会館の代替施設がなく、20万都市でホールがないのは問題である。
- ◇高齢化が進んで、住民の代わりが多くなってきたことに伴い空き家が目立つため、ぜひ活用してほしい。
- ◇農地の保全。相続による農地の減少が問題。

(3) 市内の駅ごとに期待する役割や機能(1人2つの駅、各駅シール2つまで)

市内外から人が集まる商業の中心地として、ひばりヶ丘駅や田無駅、東伏見駅を選ぶ人が多く、地域の人が利用する身近な商業地としては、保谷駅や西武柳沢駅を挙げる人が多くなっていました。また、田無駅では文化活動など交流のための機能を期待する人が多く、西武柳沢駅ではイベントや人通りによるにぎわいを期待する人が多い結果となりました。

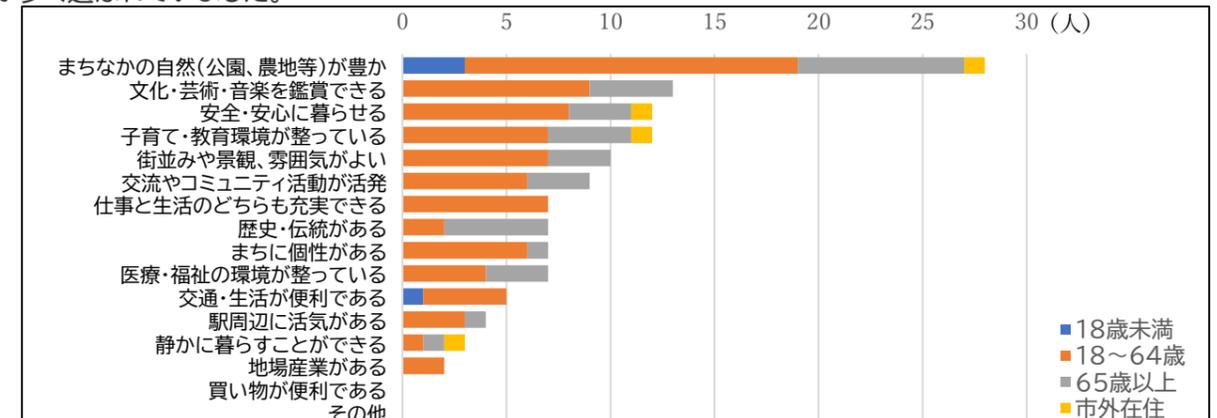


【その他意見】

- ◇ひばりヶ丘駅周辺では、いこいの森公園での市民まつりもいいが、若者が気軽に来られるイベントもほしい。
- ◇田無駅北口は商業施設の充実など良い点が多いが、南口は交通の利便性を向上してほしい。
- ◇保谷駅周辺にはカフェなどの休憩できる場所や、行政サービスを受けられる場所があると良い。
- ◇東伏見駅は、よくあるようなありふれた駅周辺にはしてほしい。みどりを強調した雰囲気だと良い。
- ◇西武柳沢駅周辺の商店街ではもう少しにぎわいを創出していくべき。

(4) 子どもたちに残していきたいまち(1人シール3つまで)

まちなかの自然(公園、緑地等)が豊かなまちを選ぶ人が最多となっており、全ての世代で最も多く選ばれる結果となりました。次いで、文化・芸術・音楽を鑑賞できるまち、安全・安心に暮らせるまち、子育て・教育環境が整っているまちが多く選ばれていました。



【その他意見】

- ◇交流やコミュニティ活動をもっと行うことで、地域の見守りにもつながる。
- ◇街並みや景観、雰囲気がよくなることで、まちの安全性につながり、子育てがしやすくなる。
- ◇西東京市といえばこれ！という個性がほしい。
- ◇農地が残ることが重要。
- ◇高齢者が増えていくなかで、今の子どもたちが負担にならないような施設や道路を増やしたい。

(5) 会場に設置した意見用紙にご記入いただいた意見

- ◇地域交流を多く行っているまちが理想。生活にフォーカスしたまちにして、住み続けたいまちにしてほしい。
- ◇駅周辺で再開発事業を行っていないような場所で、土地区画整理事業を使って、まちを良くしてほしい。
- ◇「まちなかウォークブル」を調べてみたが、こういった計画をぜひ進めてほしい。
- ◇一言で表せる市のキャッチコピーがあると良い。隣の小平市は「プチ田舎」というキャッチコピーでPRしている。
- ◇西東京市は特色がない。「子ども」をテーマに、売りポイントをつくっていくべき。